

令和8年度水質事故発生状況

発生日	市町村	発生場所			区分			原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)		
4/2	松田町	酒匂川	川音川	松田惣領		○		交通事故	松田町上下水道課から、車両事故により水路に油が流出したとの通報。町が設置したオイルマットにより水路の油を全て回収。生物への影響はなかった。
4/15	平塚市	相模川	馬入排水路	西八幡		○		事業所	大型トラックの燃料チューブが外れて軽油が約10リットル流出した。消防等が公道上及び事業所敷地内の油を回収したが、一部が道路側溝に流入した。市は原因者へ油の回収を指示。水路への油流出及び生物への影響はなかった。
4/15	平塚市	相模川	天神森排水路	大神～天神橋		○		不明	市民から天神森排水路に油が浮遊していると平塚市環境保全課に通報。市は油浮遊周囲及び本川合流前の水門付近にオイルマットを設置。市が付近の事業所に立入を行ったが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
4/22	大井町	森戸川 (小田原)	菊川	上大井			○ 白濁	事業所	大井町職員が水路が白濁していることを発見。原因は、事業所にて製造工程で発生する沈殿物を含む水を別容器に移すためのホースが外れ、河川へ流出したものと判明。流出量は最大50リットル。原因者への立入検査を行い、再発防止等を指導。生物への影響はなかった。
5/7	鎌倉市	神戸川	－	津西			○ 白濁	不明	市民から河川が白濁していると通報を受け、鎌倉市環境保全課が原因調査をしたが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
5/11	鎌倉市	神戸川	－	津西			○ 白濁	不明	市民から河川が白濁していると鎌倉市道路河川管理課が通報を受け、市環境保全課が原因調査をしたが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
5/21	藤沢市	引地川	一色川	葛原		○		事業所	市民からの通報を受けた藤沢市環境保全課が現地確認し、作業場から道路と側溝へ軽油が流出していることを確認。原因は屋外保管していた軽油のポリタンクが転倒したためと判明。流出量は最大60リットル。市がオイルマットで路上の油を回収したほか、原因者へ再発防止を指導。生物への影響はなかった。
5/23	鎌倉市	境川	小袋谷川	台		○		工事	市民が河川への油流出を発見し、原因者から解体工事現場地下の灯油タンクが破損して灯油が河川に流出したと鎌倉市消防に連絡。流出量は不明。原因者が河川にオイルマットを設置するとともに、市消防の指導により破損したタンクを撤去。県及び市が原因者へ河川の状況監視、オイルマットの継続設置等を指導。生物への影響は確認されていない。

令和8年度水質事故発生状況

発生日	市町村	発生場所			区分			原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)		
6/10	箱根町	早川	早川	強羅		○		その他	原因者からタンクローリーから重油が最大100リットル流出したと箱根町消防に連絡。消防が側溝及び下流の堰堤にオイルマットを設置。原因は、タンクローリーから地下の重油タンクに給油する際、ポンプの誤操作で重油が逆流したためと判明。原因者に油の回収や再発防止を指導。生物への影響はなかった。
6/10	藤沢市	引地川	—	下土棚大橋		○		不明	事業者から藤沢市環境保全課に下土棚大橋で油膜が広がっていると通報。市が橋の上流で雨水管はけ口から油の流出を確認。油膜が確認された雨水管付近、橋の下流の河川及び雨水管上流のマンホール内にオイルマット等を設置。原因調査をしたが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
7/1	三浦市	湾(運河含む)	境川(陣屋川)	南下浦町上宮田	○			不明	横須賀土木事務所から魚死亡の通報があり、三浦市環境課及び下水道課、横須賀海上保安部、横須賀三浦地域県政総合センターが現地調査を行った。小魚等死亡魚約1,000匹を回収。原因調査を行ったが、発生源を特定できなかった。
7/2	開成町	酒匂川	要定川	延沢		○		交通事故	小田原消防本部から要定川に接続する道路側溝に油が流出したとの連絡。原因は、縁石に乗り上げた乗用車からエンジンオイルが最大3リットル流出したためと判明。消防が吸着剤で油を回収。生物への影響はなかった。
7/6	藤沢市	引地川	—	引地川橋		○		不明	市民から引地川橋付近に油が流出していると藤沢土木事務所へ通報。藤沢市環境保全課が引地川橋の直下にオイルマットを設置。原因調査を行ったが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
7/8	三浦市	湾(運河含む)	—	三崎		○		不明	漁業協同組合関係者から三崎港で油浮遊の通報があり、三浦市環境課が船揚場で油膜を確認した。県東部漁港事務所、横須賀海上保安部、警察、消防が現地を確認し、横須賀海上保安部が航走拡散により油防除を行った。生物への影響はなかった。

令和8年度水質事故発生状況

発生日	市町村	発生場所			区分			原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)		
7/9	綾瀬市	引地川	蓼川	本蓼川墓園			○ 白濁	不明	厚木土木事務所東部センターから白濁が流れていると県央地域県政総合センターへ通報があり、綾瀬市環境保全課が現地確認したところ、鶴島橋付近で白色浮遊物を発見した。原因調査を行ったが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
7/9	愛川町	相模川	相模川	中津			○ 白濁	工事	町内事業者から愛川町環境課に通報があり、現地確認したところ排水路が白濁していた。原因は、解体工事現場から粉じんを含む水が流出したためと判明。県央地域県政総合センターは原因者へ清掃を指示。生物への影響はなかった。
7/28	平塚市	湾(運河含む)	－	千石河岸(平塚新港)		○		交通事故	車両が海に転落する事故が発生した翌日、平塚市農水産課が水面に油膜を発見した。市と原因者が港湾内にオイルフェンスを設置。原因者へ油の拡散防止、清掃及び事故報告書の提出等を指示。生物への影響はなかった。